

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2		<p>(3) 今回の裁判で費用はどのくらいかかっているか。裁判費用の内訳、賠償金・和解金の金額、その際の予算措置等を披瀝願いたい。</p> <p>(4) 市が当事者で現在係争中の裁判は他にあるのか。あればそれはどのような事件で、現在どのような状況にあるのか。さらに、いつどこで裁判が行われるか、上訴の状況などを公表することにより、将来的には無用の係争を防ぐ効果もあると考えられるがいかがか。</p> <p>(5) 市長は、企業誘致のための重点政策として、深谷の工業団地を造成する計画を堅持されているが、企業誘致を進めるうえで、今回の裁判による風評被害の影響をどのように認識しているのか。</p> <p>2 刈田病院の果たすべき役割と一般会計負担の考え方</p> <p>公立刈田総合病院の赤字が拡大している問題で、昨年の白石市6月議会で、私が刈田病院への白石市一般会計からの特別繰り入れについて一般質問した答弁のなかで、風間市長は、「今後のことについては、病院改革プランのなかで、刈田病院の果たすべき役割と一般会計負担の考え方を明記していきたい」と答弁されました。</p> <p>そして、先日公開された、「公立刈田総合病院改革プラン」において「病院の果たすべき役割」については「仙南医療圏における中核的な病院として、高度専門医療・救急医療・災害医療などの不採算医療また、結核や感染症など民間医療機関では対応が困難な医療を実施するとともに、地域住民の受療ニーズの高い診療科の設置や地域充足の低い疾病等への対応など、地域に不足する一般医療の確保を図る」ことが示され、さらに悪化した刈田病院の経営改善のためには「一般会計から、今年度に6億円、来年度には4億円の特別繰り入れを認めざるを得ない」ことが、先日の新聞でも報じられました。</p> <p>刈田病院の果たすべき役割を再認識しながら、財政健全化法の施行にともない、白石市の財政健全化の問題ともからめて、一般会計による特別繰り入れについて、具体的な考え方・裏づけのもとに、今こそ市民の皆さまにお願いをする時期にきていると思われるが、市民の皆さまに、一般会計による特別繰り入れ・市民の税金を使わせていただくことをどのように説明するおつもりなのか、現在の刈田病院の現状を踏まえながら、市長の所見を、再度、お聞かせ願います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	2番 管野 恭子	<p>1 新型インフルエンザ対策について</p> <p>発生すると、脅威的な速さで広まりかつ、多くの死亡者が出ると想定される、新型インフルエンザについて、本市における対策を早急に計画策定すべきと考えるが市長の所見を伺う。</p> <p>2 より多くのSPコード付き文書の発行を行い視覚障がいの方々の利便性をはかることについて</p> <p>昨年、本市は視覚障がい者の方々の利便性をはかるために活字文書読み上げ装置を設置したが、これを有効に活用するには、SPコード付きの文書をより多く発行していくべきと考えるが市長の所見を伺う。</p> <p>3 定額給付金交付時にあわせた地域振興の施策について</p> <p>国の第二次補正予算案に盛り込まれている定額給付金交付を、本市における消費促進の機会とするため、商工会議所その他関係機関等と連携しながら、プレミアム付き商品券を発行するなど積極的に推進していくべきと考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長
4	10番 大野 栄光	<p>1 地域振興策について</p> <p>アメリカ発の経済不況にあって当市の企業も例外でなく危機的状況になっております。</p> <p>今、行政は市民と一緒にあって市内企業を応援するべきではないでしょうか。例えば2011年デジタル化になるテレビ等を定額給付金に合わせ助成をし、それに個人の資金を当て、市内企業の製品を市内電器店より購入するとか、行政で使用するOA機器を導入するとか、少しでも企業を応援する姿勢を示すべきではないでしょうか。</p> <p>市長の御所見をお伺いいたします。</p> <p>2 工業団地にエコ関連企業の誘致について</p> <p>今の不景気状況下にあっても、およびもつかない好成绩を上げている企業もあります。</p> <p>世界的にもエコ環境産業が求められる中、関連企業は投資を臆することなく続け、この不況の中にあっても一際光っている企業です。地球温暖化が急速に進むなか、国もそんなエコ産業にテコ入れし、応援をしていますが本市において2年後に完成を見る、工業団地に是非エコ関連の企業を誘致してはいかがかと思いますが市長の見解をお尋ねいたします。</p>	市長 市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	12番 四竈英夫	<p>1 小中学生に、早寝早起きの習慣を付け、健全な体と心を育てる教育方針に取り組むお考えがないかお尋ねします。</p> <p>現在の小中学生は、生活が夜型になり更には深夜型にまで進行しています。これはこどもたちの健全な成長のためには好ましいことではありません。夜型が進行する小中学生の生活実態を把握し、早寝早起きの生活を定着させるとともに、朝食をしっかりと食べ、健全な体と心を育てるための教育方針に力を注ぐお考えはないかお尋ねします。</p>	教育長
6	5番 沼倉啓介	<p>1 教育現場における現状と深刻な課題について</p> <p>(1) 子供の環境づくりについて (2) 教員の環境づくりについて</p> <p>2 生涯学習の推進について</p> <p>図書館の在り方と文化財や郷土の文化活動について</p>	教育長 教育長
7	4番 吉田貞子	<p>1 雇用をめぐる状況と対策について</p> <p>(1) 白石市緊急経済対策本部での検討内容について (2) 内定打ち切り、派遣・請負・期間従業員の雇い止め、契約打ち切り、正規職員の解雇等の実態把握について (3) 3月にまた大きな解雇等の波がくると言われているが、どのような情報を受けているか。 (4) 派遣法の改正等、国や県、企業への要望活動について (5) 白石市としての緊急雇用の現況と今後4月からの対応策について (6) 失業された、また、するであろう方々への住宅、生活保護支給、職業訓練など社会保障の充実について (7) 相談窓口の充実について (8) 公共事業の市内発注など現時点で市ができる雇用創出の方策について</p>	市長
8	9番 佐久間儀郎	<p>1 子どもの読書活動について</p> <p>本市には、すべての子どもが読書に親しみ、読みたいと思ったときにいつでもどこでも読書ができる環境を整え、心豊かでたくましく生きる子どもの育成を目的とした「白石市子ども読書活動推進計画」がございます。わたくしは、本市が、読書、またその習慣が子どもにとって心身の発達に有用不可欠のものと認識され、市全体で子どもの読書活動を積極的に推進する取り組みに共感いたします。</p> <p>ところで、年度末で計画の3分の1を消化することになりますので、これまでの推進活動の実態、成果、今後の課題、環境整備等をどのように捉えているのか教育長の所見を伺います。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	15番 志村 新一郎	<p>1 市の将来のあり方について</p> <p>本市は、10年、20年先を考えたとき、何に重点を置き、どのような都市を目指すのか。</p> <p>2 道路整備について</p> <p>未整備道路の早期整備の計画について。</p> <p>3 観光地としての今後の整備について</p> <p>昨年のDCを踏まえ、今後の計画は、考えられる既存施設等の今後の整備計画は。</p> <p>4 積極的な環境問題への取り組みについて</p> <p>シリウスを踏まえ、今後本市独自の環境問題への取り組みは。</p>	市長 市長 市長 市長
10	16番 平間 知一	<p>1 国保の医療費増加・市民の自己負担の軽減について</p> <p>当市では、国民健康保険の加入者が高齢化や医療技術の高度化などの要因により、平成19年度は県内13の市で一人当たりの医療費は1番目と保険給付が増加し続けております。しかしながら、その加入者の現状は、無職者や年金収入のみの所得者など所得ゼロや低所得者の加入者の割合が毎年増加しています。また、予測以上に医療費が必要になることを想定しての国民健康保険の財政調整基金が、20年度末には皆無の状態となり、当市の国保は大変厳しい財政運営に迫られています。そこで、3点について質問します。</p> <p>(1) 新薬とジェネリック医薬品をバランスよく用いることにより、高騰する患者さんの医療費や自己負担を和らげることを考えていかなければならないと思います。住民と市双方の医療費負担を抑制するために、白石市医師会、薬剤師会が連携を取り、慢性疾患を対象に、ジェネリック医薬品に切り替える対策はお考えでしょうかお伺いします。</p> <p>(2) 特定健診の受診者が少なかったり、あるいは特定保健指導の効果が見られなかった場合は医療保険者が拠出しなければならない「後期高齢者医療制度への支援金」が増やされます。特定健診の受診率を上げるための今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>(3) 後期高齢者医療制度の導入に伴い、退職者医療制度が廃止され、企業の健康保険（社会保険・共済保険）に入っていた住民で65歳以上の退職者の医療費が企業保険からではなく今度は国民健康保険事業から出すこととなり、国保の負担が重くなっています。保険料の値上げで、滞納者が増えると考えますが、収納率を上げる対策をお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	3番 水落孝子	<p>1 雇用の確保と地域活性化について</p> <p>昨年11月以降の雇用を取り巻く状況は、今までにない状況と言える。さらに年度末にむけて一層の困難が予想されている中で、雇用＝生活であることから、今最も重要な施策は、安定した雇用と失業者の生活、再就職支援、地元中小企業の仕事につながる生活密着型事業と考える。そこで</p> <p>(1) 12月17日、白石市緊急経済対策本部を設置されて以降の検討について時系列的に示されたい。</p> <p>(2) 雇用打ち切りの状況調査は、再就職支援をすすめるうえでも「雇用のミスマッチ」を少なくするうえでも、リアルな実態調査が重要であると考えが、実態調査はどのようにすすめられたのか？その結果はどのようなものであったのか？</p> <p>(3) 年末年始における離職者等への対応にかかる特別交付税措置としての「緊急雇用創出事業交付金」「ふるさと雇用再生特別交付金」を利用しての事業は、2月補正、21年度当初予算にもみあたらないが、いつ具体化された事業が提案されるのか？その事業の内容はどのようなものか？</p> <p>(4) 地域活性化・生活対策臨時交付金の活用についても同様に伺う。その中でも、地元中小企業の仕事につながる事業はどれくらいあるのか？</p> <p>派遣労働者法を1999年原則自由化し、製造業にも適用された結果、企業は生産調整弁として正規労働者を派遣労働者に置き換え、今回の派遣切り・雇い止めが雇用不安の始まりであり、現在の労働者派遣法が続く限り、企業が雇用するのは派遣労働者だろうと考えるが、</p> <p>(5) 生産調整弁としての派遣労働者雇用についての見解を伺う。</p> <p>(6) 現在造成中の工業団地への誘致企業に対し、地元の常用雇用をすすめると言われたが、その実現の担保はなにか？</p> <p>(7) 現在の経済状況の中でも、好調な企業があると言われており、解雇に走っているのは、輸出中心の企業であるが、工業団地への誘致をすすめるうえで、以前と考え方が変わった点はあるのか？</p>	市長